

文部科学省：私立大学研究ブランディング事業

7月7日（金）基調講演者：ユネスコ前事務局長・松浦晃一郎氏・メキシコ国立大学教授・ルルド・アリスぺ氏

〈国際シンポジウム〉無形文化遺産をグローバルに見る

—地域社会と研究者、国家、ユネスコの相互作用—

開催日時：2017年7月7日（金）～7月9日（日）

成城大学（東京都世田谷区 学長：戸部 順一）は、成城大学グローバル研究センター（CGS）で提唱し推進している「グローバル研究」（グローバル化とローカル化が同時かつ相互に影響を及ぼしながら進行するグローバル化現象に関する研究）の一環として、このたびアジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）並びに文化庁との共催で“Glocal Perspectives on Intangible Cultural Heritage: Local Communities, Researchers, States and UNESCO” 「無形文化遺産をグローバルに見る—地域社会と研究者、国家、ユネスコの相互作用—」と題する国際シンポジウムを2017年7月7日（金）から7月9日（日）に開催いたします。

本シンポジウムは、大学の特色を生かした取り組みを行う私立大学を支援する「私立大学研究ブランディング事業」の一環として開催されます。7月7日（金）の基調講演には、ユネスコ前事務局長 松浦晃一郎氏、メキシコ国立大学教授 ルルド・アリスぺ氏（ビデオメッセージ）、ユネスコ本部無形文化遺産課長ティム・カーティス氏も参加します

ユネスコの無形文化遺産保護条約が成立・発効して10年以上が経過した今日、グローバルに拡大・浸透したユネスコ無形文化遺産保護の理念や文化政策が、それを受け入れたローカルな場（各国政府や地方自治体、無形文化遺産を保持、継承するコミュニティなど）にさまざまな影響を及ぼしています。その実情や実態を、これまで十分には議論されてこなかったアジア太平洋諸国の実例を中心に明らかにし、今後のより良いユネスコ無形文化遺産保護のあり方を考えてみようというのが本シンポジウム開催の趣旨です。

開催概要

【タイトル】無形文化遺産をグローバルに見る
— 地域社会と研究者、国家、ユネスコの相互作用 —

【日時】2017年7月7日（金） 10:00～17:50
2017年7月8日（土） 9:00～15:40
2017年7月9日（日） 14:00～15:30

【場所】7月7日（金）、8日（土）成城大学 法人棟3F 大会議室
7月9日（日）厚木南公民館体育室

【参加費】無料

【基調講演者】ユネスコ前事務局長 松浦晃一郎氏、
（7月7日）メキシコ国立大学教授 ルルド・アリスぺ氏（ビデオメッセージ）

【主催】グローバル研究センター（CGS）、
アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）、文化庁

【使用言語】英語（日本語の同時通訳有り）※9日は日本語の人形芝居です。

【問い合わせ】成城大学 グローバル研究センター

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

TEL: 03-3482-1497 FAX: 03-3482-9740 E-mail: glocalstudies@seijo.ac.jp



〈シンポジウム内容〉

■1日目：7月7日（金）

10：00～11：00 基調講演

松浦晃一郎氏（ユネスコ前事務局長）、ルルド・アリスベ氏（ビデオメッセージ・メキシコ国立自治大学教授）

ユネスコ本部無形文化遺産課長ティム・カーティス氏

11：15～13：05 Session 1

ローカルコミュニティ・地方自治体・研究者・政府はどのようにして協力しながらユネスコの無形文化遺産の保護に関する条約施行に関連する活動（目録作成・保護・推薦・登録）を行うのか？

13：55～15：45 Session 2

ユネスコ条約によってもたらされた変革の影響はどのようなもので、コミュニティはそれをどのように評価してきたか？

16：00～17：50 Session 3

ユネスコ条約の施行による影響を評価するにあたり、「文化的仲介者」としての研究者の役割は何か？

■2日目：7月8日（土）

9：00～10：50 Session 4

ローカルコミュニティがユネスコとコミュニケーションを図る際、ユネスコ条約の影響について伝えるために考えられるフィードバックの仕組みにはどのようなものがあるのか？

11：05～12：55 Session 5

IRCI セッション：IRCI による無形文化遺産研究者ネットワーク活性化に向けての新たなイニシアチブ

13：35～14：05 大学内施設見学

成城大学民俗学研究所・柳田文庫（柳田國男氏の旧蔵書）

14：05～15：40 全体討論・総括

■3日目：7月9日（日）

14：00～15：30 国指定重要無形民俗文化財「相撲人形芝居」観覧

演目：1）三番叟 2）傾城阿波の鳴門 巡礼唄の段

演者：人形遣い：相模人形芝居・長谷座

太 夫：入江敦子氏 三 味 線：竹本土佐子氏